

## 学生用ジョブ・カードの活用のあり方について（案）

第1回の議論等を踏まえて、現段階での学生用ジョブ・カードの活用のあり方について、以下のとおり整理。

### <交付機会や作成方法等>

- 学生用ジョブ・カードは、キャリア教育そのものためのツールではなく、キャリア教育の一部として、学生が就職活動に当たって活用すること（※）を念頭に置いて作成するものとする。
- 学生が自分だけで作成するというよりも、キャリア・コンサルタントや教員が支援しながら作成することが必要。  
※ 学生用ジョブ・カード交付に当たってのジョブ・カード講習のあり方については今後検討。
- 作成時期の考え方としては、具体的に就職を考える大学3、4年生になってから作成するというものと、大学1年生等の早い時点から就職を意識させるために、学生用ジョブ・カードの内容を周知した上で更新しながら時間をかけて完成させていくというものがある。
- 学生用ジョブ・カードの交付機会としては、①キャリア教育の授業、②キャリア・センターにおける個別相談、③①以外の授業、ゼミの場が考えられる。
- これら3つの場で、学生用ジョブ・カードの試行を行い、使い勝手の良さや、どういう改善が必要か等について検証すればよいのではないかと。

### <ジョブ・カードの活用方法※>

- 学生時代に取り組んだこと、経験したこと等を棚卸しし、自らのキャリア・ビジョンを明確にし、就職活動を円滑に開始すること
- エントリーシートの作成や、採用面接時において自己PRを図る際の基本資料
- 中小企業を希望する学生が、いわば自己PRシートとして応募中小企業に提出する資料